

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-I-13

4-I-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	13 案内サイン等の多言語化	関連団体	県交通政策課、佐渡地域振興局(企画振興部、地域整備部)、佐渡市交通政策課、佐渡市建設課、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 案内サイン等の多言語化により、外国人観光客の受入環境整備を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設、佐渡汽船ターミナル等、公共交通機関施設における案内サインについて多言語化を進める。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 案内サイン等が多言語されており、訪日外国人が困難なく旅行ができる体制。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流員による島内受入環境の確認を行うとともに、多言語化への助言を行った。 ○ 海外メディア招請事業の際に多言語化の状況を確認した。 ○ モニターツアーに参加した外国人に対し、アンケートを実施し案内サインの充実度合いを調査し、関係施設へ結果を提供した。 ○ アプリやWEB(GoogleMap等)で、島内バス路線の検索が可能となった。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● webサイトと連携する形で案内の多言語化を進める。 ● 地域観光資源(自然、文化資源)を多言語解説するためのテキストを、有識者をまじえた中で新規作成する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語版「さど観光ナビ」に誘導するQRカードを作成し、佐渡汽船など交通の主要箇所を設置。 ● 地域観光資源の英語解説文を作成した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 掲出済の案内サインの多言語対応については、設置先の事業者等との調整が必要。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 島内の多言語化の進捗状況を、事業者と情報連携し啓発をはかる。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成度】 ◇ 概ね事業が計画通りに進んでいることからB評価とした。</p> <p>[A (B) C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。